

1. 基本情報						
事務事業コード	0102010607010301	事務事業名	財政計画事務	担当部	総務部	
				担当課	財政課	
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり		担当課長	山口 昌樹	
施策名	01	健全な財政運営の推進		グループ	財政G	
基本事業名	03	歳入に見合った予算編成と適正執行		内線番号	1323	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	02 総務費		根拠法令・条例等 地方財政法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律 外 霧島市経営健全化計画(第2次)改定		
	項	01 総務管理費				
	目	06 財政管理費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

1・社会経済の環境の変化を直視しつつ、時代の要請に応え得るため、計画行政を推進し、同時に効率的な行政運営を図るため、財政計画を作成する。
 ①経営健全化計画の策定及び進捗管理(見直し含む)
 ②経営健全化計画の予算への反映
 2. 国の基本方針、県の予算編成方針等に基づき予算編成方針を策定するとともに、「霧島市行政改革大綱」、「霧島市集中改革プラン」、「霧島市経営健全計画(第2次)改定」との整合性のある予算編成を行う。また、予算執行計画に基づいた予算執行を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 霧島市経営健全化計画策定または改訂回数	回	0	0	0	1
イ 予算編成回数	回	6	5	7	5
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市の財政状況						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 健全な状態にする						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 歳入に見合った予算の編成と予算執行						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成19年6月には、地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行されるなど、健全な財政運営の推進は地方公共団体にとって喫緊の課題となっている。
 また、厳しい財政状況等も踏まえ、今後も効率的で持続可能な財政運営が求められる。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,781	3,329	3,127	5,216
事業費		千円	1,781	3,329	3,127	5,216

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
「霧島市経営健全化計画(第2次)改定」の数値目標達成に向け、自主財源の確保に努めるとともに、歳出規模の適正化や徹底した事務経費の抑制、事務執行の効率化を図るなどの取組を行った。 【予算規模】 ・当初予算額:572億5,000万円 ・補正(6号)後予算額:628億8,625万円 【予算印刷】 ・予算書印刷業務委託実績:1,252,800円(250部)	予算執行においては、引き続き、執行手続きの厳格化、執行内容の精査に努めた。 予算規模の適正化については、平成29年度当初予算において、扶助費の増加や臨時給付金等の国の政策及び喫緊の課題に対する対応が必要であったことなどにより、経営健全化計画に掲げる目標を達成できなかった。 また、当初予算成立後に緊急の課題等に対応する必要が生じたために、補正予算を6回編成した。

事務事業コード	0102010607010301	事務事業名	財政計画事務	担当部	総務部
				担当課	財政課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	
	<input type="checkbox"/> 結びついている	
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている	
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 影響がある	
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	当該事務事業に係る事業費は、書籍等の追録(消耗品費)、予算書等印刷(印刷製本費)財務諸表作成業務委託(委託料)等が主であり、削減は難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	
	<input type="checkbox"/> 削減できる	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	予算編成事務、決算統計事務をはじめ、各種業務の効率化を図ることで、延べ業務時間の削減を図る。
	<input type="checkbox"/> 削減できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	一部の受益者に偏っていませんか？
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	「霧島市経営健全化計画(第2次)改定」の期間が平成29年度までであることから、平成29年度中に「霧島市経営健全化計画(第3次)」の策定を行う。 また、平成28年度決算の公会計の公表に向けた統一的な基準による財務書類等の作成に向け取り組む。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	平成29年度に策定した「霧島市経営健全化計画(第3次)」の目標値達成に向けて適正な財政運営に努める。 【主な経費】 印刷製本費・委託料						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

